

ごみは金なり

No.12

ごみの処理費用はこんなに掛かっています！

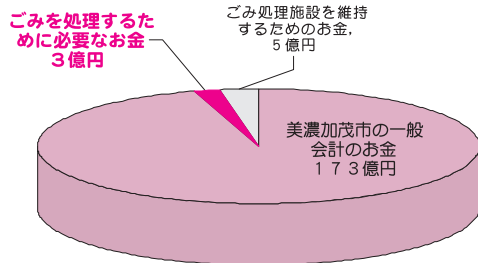
環境課
内線 307

6月は環境月間です

全国ごみ不法投棄監視ウイーク

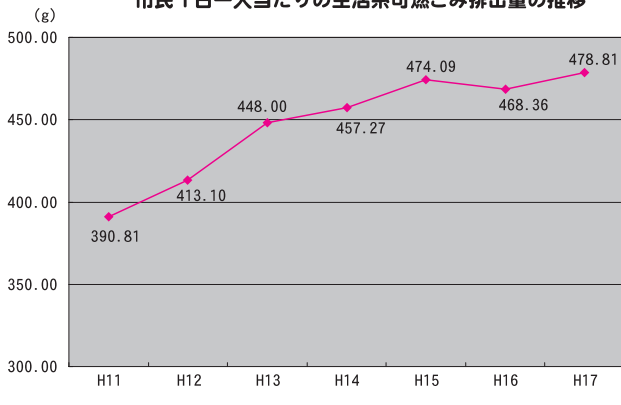
5月30日(ごみゼロの日)から6月5日(環境の日)までは「ごみ不法投棄監視ウイーク」です。みんなで協力して、ごみの不法投棄を無くしましょう。

一般会計に占めるごみ処理に掛かるお金の割合



左の表は、平成17年度の一般会計に占める燃えるごみの処理費用(概算)と1日一人当たりのごみ排出量の推移を表したものです。
市の1日一人当たりのごみ排出量は、少しずつ確実に増加し、それに伴い、ごみを処理するために必要なお金も増加しています。
ごみの処理は自治体の責任ですが、

市民1日一人当たりの生活系可燃ごみ排出量の推移



全部税金で処理すればよいのでしょうか?税金は、皆さんの生活に必要なさまざまな事業に使われています。
可燃ごみの中には、まだリサイクルできる紙類が多く含まれています。
次回は、捨てる紙あれば、拾(り)サイクルする(紙あり)です。

考えよう。共生時代⑫

シリーズ

日本人・外国人ではなく、一人の人間として(前半)

昨年末には、市の外国人人口の割合が、県の自治体で初めて1割を超えました(人口の10人に1人は外国人)。2007年4月1日現在で市内の外国人人口は5,530人です。
日本では少子高齢化が加速しており、労働力不足を補うには、外国人労働者は欠かせない存在として、日本経済にもますます影響を与えるようになっていきます。国際化はどんどん進み、避けて通れない道となっています。行政、企業、住民(日本人・外国人)および社会全体がこの状況を認識し「多文化共生社会」を築いていく必要があります。
(文責 大里)

Bom Dia